

南部鉄器

じゅけんいりぐち
受験入口 ②

南部鉄器

岩手県の盛岡市や奥州市では、昔から、鉄を使った道具が作られてきました。これを南部鉄器といいます。南部鉄器は、国の伝統的工芸品に指定されています。その始まりは、江戸時代に、茶の湯に使うかまが作られたことだといわれています。南部鉄器のてつびんは、すなと粘土で作った「かた」に、とかした鉄を流しこんで作ります。かたの内がわには、職人が一つ一つ手で、もようをつけていきます。鉄が冷えて固まったら、かたをこわして取り出し、さびないように炭火で焼き上げます。

南部鉄器作りには、百をこえる工程があり、そのほとんどが手作業です。そのため、一つの品物を作り上げるまでに、長い時間がかかります。南部鉄器は、熱をもちやすく、大切に使用えば何十年も使いつづけることができます。近年は、その美しさや使いやすさが注目され、海外でも人気が高まっています。



1 南部鉄器は、何を使った道具ですか。



2 てつびんのかたは、何で作られていますか。

ア 木と紙

イ すなと粘土

ウ ガラス



3 南部鉄器を作るのに、長い時間がかかるのはどうしてですか。



4 南部鉄器のよいところを、本文から二つ書きましょう。